

学習に努め生きがいをもとう



おめでとう "20歳"

大人としての責任を

成人おめでとう

1月5日、町中央公民館において成人式が行われました。

成人式が5日に実施されるようになり、県外に働きに出ている方も、正月休みに成人式が受けられるとあつて、今年は124人のうち、105名が出席しました。

20歳になると、大人としての責任が自分の意志とは関係なしにのしかかってきます。成人式を1つの節目として目標に向かって、それぞれの分野で1人前の社会人として活躍して欲しいものです。

かれ草のかぎろふなかにひそまりて

ねむるとはすれものの思はる

牧水



昭和60年 2月号 第402号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

“牧水の里”に

健脚を競う

歩け走ろう大会に550人

一月十五日、牧水公園（坪谷）を会場に県北体力づくり歩け走ろう大会が開催されました。この大会は、日常生活の中で積



極的に、健康・体力づくりを實踐していく気運を高めることを目的として県教育委員会、東郷町・教育委員会、町体育協会主催により

県北市町村などから五百五十名が参加して行われました。町では、毎年一月十五日に成人祝賀ロードレース大会を行っていますが、今年は若山牧水生誕百年に当り、その記念行事を十月二十四日に行うことが決まっております。この記念行事の気運を高めることも合わせて牧水公園で行ったものです。

手を引かれて、歩こう会



立食いもおいしい



昭和六十年 新春懇談会

昭和六十年新春懇談会が、一月十一日中央公民館で開催されました。

九時三十分から始まった懇談会には、森林組合長、商工会長・区長・学校長など約五十名が参加して、

- ・働く場としての企業誘致の問題
- ・農林業の振興
- ・町内企業の振興対策
- ・教育問題
- ・社会福祉

などについて各界から活発な意見が出され、二時間三十分にあたり懇談が行われました。

町県民税 国保税の申告が始まります

今年も税の申告時期になりました。みなさんが納める町税は、本町唯一の自主財源であり、行財政に大きく役立っています。

町では、申告の受付を別表のとおり行いますのでお知らせいたします。申告の際は次のことに留意して正しい申告をしてください。

- 申告は、あなたの世帯の収入支出等のわかる人がしてください。
- 関係書類（領収証・証明書等）と印かんを持参してください。
- 配付された「昭和60年度町県民税・国保税申告計算書」は、事前に必ず記入して持参してください。

会場が混雑することが予想されますので、決められた日時・場所で申告してください。

- 国税を申告される人で、税務署から指定された人は、その指定の日時と場所で申告してください。
- 問い合わせ
わからないことがありましたら税務課・課税係（電話2111内線34）にお問い合わせください。

贈与税の申告をお忘れなく

贈与税の申告と納税は二月一日から受付が始まっています。申告と納税の期限は三月十五日までとなっておりますのでお忘れなく。贈与税は、個人から財産をもらったときにかかる税金です。昨年一年間にもらった財産の合計額が六十万円を超えるときは、贈与税の申告をしなければなりません。なお、夫婦間で居住用不動産の贈与が行なわれたときや父母などから住宅取得資金の贈与を受けた場合などで、一定の条件に当てまれば、贈与税が軽減されます。

所得税・贈与税の申告相談について

延岡税務署では、所得税・贈与税申告の相談・受付を左記のとおり行いますので是非ご利用下さい。

- 日時 2月7日、8日
午前9時から午後4時
- 日時 2月21日、22日
午前9時から午後4時
- 場所 日向市役所
- 場所 東郷町役場

別表 昭和60年度町県民税申告相談日程表

區別	該 当 組 合	月 日	曜	時 間	場 所
福 瀬	上村 下村 鳥川	2. 18	月	9:30~15:00	福瀬公民館
	ウトギ 日田尾 広瀬	19	火	9:30~12:00	広瀬生活改善センター
	仲野原 出口	20	水	9:00~12:00	仲野原公民館
国 税	町 内 全 域	21	木	9:00~16:00	役 場 講 堂
		22	金	"	"
下渡川	区 全 域	23	土	10:00~11:00	下渡川公民館
小野田	"	25	月	9:00~15:00	役 場 講 堂
羽 坂	"	26	火	"	羽坂生活改善センター
迫野内	"	27	水	9:30~15:00	迫野内公民館
鶴野内	"	28	木	9:00~15:00	鶴野内 "
仲 深	"	3. 1	金	9:30~15:00	仲 深 "
田 野	"	2	土	9:30~12:00	田 野 "
寺 迫	寺迫 山之口 落鹿 中尾	4	月	9:30~15:00	寺 迫 "
	吉牟田 長崎 庭田	5	火	"	庭 田 "
坪 谷	石原 本村 赤井笠 上ノ原	6	水	"	農協坪谷支所
	仲崎 多武ノ木 一谷原 市谷川崎 瀬平	7	木	"	一谷原集会所
越 表	児洗 一松露	8	金	9:30~11:00	児洗公民館
	中水流 田口八ツ山			13:30~15:00	越表生活改善センター
八重原	区 全 域	9	土	9:30~12:00	八重原公民館

昭和60年 消防始式



昭和六十年消防始式が、一月七日午前七時五分から町総合グラウンドで開催されました。

当日は、町内の各部から四百九十名の団員が出動し、規律動作、機械器具の整備、保管状況の点検を受けたあと、各部のポンプ班員による放水競技が行われ、各部ともきびきびした態度で、日頃の訓練の成果を披露しました。

今年、第一部(小野田)が総合・操練・小型ポンプ放水競技の全てに優勝するという始式になりました。

成績、表彰者は次のとおりです。
▼総合の部

- 優勝 第一部(小野田)
- 二位 第十部(田野)
- 三位 第八部(鶴野内)

▼操練の部

- 優勝 第一部(小野田)
- 二位 第十部(田野)
- 三位 第八部(鶴野内)

▼小型ポンプ放水競技の部

- 優勝 第一部(小野田)
- 二位 第三部(追野内)
- 三位 第十部(田野)

- 県知事表彰 直野哲義(副団長) 黒木文雄(三)
- 県消防協会会長表彰 三浦正教(本) 笠瀬太(一) 黒木富義(三) 藤井柳太郎(四) 那須千秋(五) 後藤喜一

- (六) 高野幸俊(七) 黒木康夫(八) 松木勝美(九) 井本幸男(十)
- 県消防協会日向支部長表彰 (団体の部) 第九部 (個人の部) 川越洋(六) 谷口洋一(一) 新名昭夫(二) 新名敏文(三) 黒木勝(四) 橋口覺(五) 寺原正(六) 河野喜次(七) 黒木喜長(八) 南公明(九) 河野利男(十) 黒田清一(十一) 前川浩規(十二)
- 町長表彰 (本部) 山田重男 椎田幹男 池田正信(第一部) 小田裕三 本多悌二(第二部) 谷口己代治 川越和夫 山田数広(第三部) 佐藤芳満 野田正明(第四部) 日吉勝(第五部) 山口幸善 松岡二美(第六部) 佐藤

- 欣一(第七部) 安藤政広 黒木慶司(第八部) 福谷集 宮田幸男 黒木安司(第九部) 福畑己喜男(第十部) 田原一義(十一部) 橋口徳夫
- 団長表彰 (本部) 海野茂実 児玉明 菊池輔弘(第一部) 橋口靖行 福良公一(第二部) 直野健一 高木泰茂 谷口繁幸 田中要吉(第三部) 黒木七郎 黒木作次郎 佐藤三三夫(第四部) 甲斐元重 橋口厚信(第五部) 中川雄一 矢野恒人 矢野哲朗 寺原徳美(第六部) 日高良範 山元良徳(第七部) 安藤孝生 黒木富男 橋口裕教(第八部) 山本和利 三原正志 宮

- 田孝茂 畝原辰雄(第九部) 奈須日出男(第十部) 川原洋信(第十一部) 黒木孝夫 那須春男
- 退職団員 (第一部) 高館保 小田裕三 羽田和生 成実朝吉 都甲幸之 海野幸育(第二部) 平野松嗣 矢野博 黒木金市 岩本義広(第三部) 黒木勝 佐藤芳満(第四部) 福原健一 橋口覺 赤木正昭(第五部) 那須成章 矢野末宏 黒木正一 竹本義則(第七部) 黒木吹憲 黒木興吉(第八部) 山口和行 菊池健一(第十部) 谷口博幸

三位 海野真奈美(一)

おめでとう文部大臣賞

本県からは初めての受賞

第二十五回「安全に関する図画作文コンクール」(文部省、各都道府県教育委員会主催)で福瀬小学校六年矢野晋也君の作文「国民安全の日をこうして迎えたばく」が、本県初の文部大臣賞を受賞しました。

国民安全の日をこうして迎えたばく

福瀬小六年 矢野晋也

五月下旬の学級指導の時間でした。先生が「デパートに売っていないもの名前を、なんですか。」

考えたけど、だれも答えられませんでした。先生は、ぼくたちが答えられなかったことには何もふれずに、黒板のまん中に「安全、健康、平和、友情、信頼」と書かれ、そして、全く、ふだんの調子で「あのね、デパートといえども「安全」とか「健康」などという名前のものは売っていません。」とおっしゃいました。

抽象名詞のことです。この前、作文の時に抽象名詞、具体名詞と習ったけど、あの抽象名詞のこと

でした。

それから、黒板の左の方に、赤チョークで「安全は、どこに行っても買えないもの。安全とは、人から与えられないもの。安全は、自分自身の気持ちの中に、実行というところにあるもの。」と書かれました。ぼくたちは、それを、ゆっくりとノートに清書しました。

そして、六月一日をむかえました。先生が新聞紙ほどの大きさの画用紙をくるくる巻いたものを持って教室に入ってきたら、朝のあいさつのあと、いちばんに、そのくるくる紙を開きながらおっしゃいました。「これは、何でしょう。六月から、これを続けます。」

その紙の中央には、あの工事現場などでよく見かける安全マークのヤ(白十字)が印さつされてい

手に汗の大熱戦

牧水かるた大会

第十回目を迎えた牧水かるた大会が、一月五日町中央公民館で開催されました。

- (団体戦) 小学校 優勝 坪谷小Bチーム 二位 坪谷小Aチーム 三位 東郷小Aチーム
- 中学校 優勝 東郷中Aチーム 二位 坪谷中Bチーム 三位 坪谷中Aチーム (個人戦) 小学校 優勝 矢野ゆかり(東郷小) 二位 稲田 恵(坪谷小) 三位 黒木孝志(寺迫小)
- 中学校 優勝 鶴田康子(東郷中) 二位 寺原正士(一)

行われ熱戦を繰り広げました。成績は次のとおりです。



先生は、「この白十字は、さらに細かく、点々線で、三〇に区切つてあります。毎日、ひとつずつぬりつぶしていけば、六月は三〇日だから、緑十字が完成するというわけ。」とおっしゃいました。

全校生徒の前で作文を朗読する矢野晋也君



それから、先生は、この緑十字達成のためのころえなどをいくつか話されました。

六年一組のクラスのみんなは、先生のグッドアイデアにすぐ乗ってしまいました。なんとなく、みんなやる気になってしまったというわけです。もちろん、ぼくもその一人でした。

六月に入ったら、みんなの気持ちの中に当然というように、「安全」という言葉が植え付けられ始めました。毎日の帰りの会で、その日の日直当番の人が「安全点検」をします。安全な行動ができていれば、先生やみんなは拍手をして、白十字の一面を緑色にぬっていきま

六月十六日は、たしか、土曜日でした。少年野球が終わり、自転車に乗って、友達と話しながら、家に帰っていました。その途中、思ってもみなかった出来事が起こりました。ちよつとした坂のカーブを曲がって下りて行きました。今、考えると、あの時のぼくの気持ちの中には「安全」という言葉は1%もなかったのでしょうか。

スギ木立ちを見ながら、直線道路に入りかけたとき、ほんの目の前に、幼児をつれて歩いてたおばさんがいました。ぼくは、あつと声を上げる間もなく、ハンドルを直角に切っていました。その時に、自転車もろとも、倒れ、右ひじ、右かたを強く打ってしまいました。自転車が、めちやめちやにこわれ、ぼくは、頭も強く打っていました。

家には、帰りが遅いそうですが倒れてから次の朝までのことは全然、覚えていませんでした。次の朝、頭に、たんこぶが二つあるのは、なぜなのか、母に分か

切った質問を何度もしたこと、明日は日曜日なのに、月曜日だと言いつつ時間割を調べては、母を心配させたことなどをあとで聞かされました。月曜日は、日向市内の病院へ、火曜日は、延岡市の県立病院に行つたりしては、脳波というものをとりました。一週間は、絶対安静というしん断までもありました。

六月十六日のクラスの安全点検は、バツでした。ぼくは、はじめて緑色がぬられませんでした。だれも、口に出してぼくを非難した人はいなかったけど、緑十字のまん中あたりが一区切りだけまっ白です。ぼくには、その一区切りが大きく見えるのです。ひと月前の先生のデパートの話がつくづくよく分かりました。自分の体験を通してみて「安全は、人から与えられないもの、安全は自分自身の——」がほんとうによく分かりました。ぼくにあって貴重な六月だったともいえます。

そして、七月一日の朝、先生はまっ先に「きょうは、国民安全の日です。」と言われ、緑のチョークで板書されました。ぼくの耳に目につかり入る言葉でした。

点描 (41)

九十五年前の村長選挙(一)

時は明治二十五年十二月、当時の東郷村長甲斐定一郎氏が、山陰郵便局長に就任するため、村長の退職届を提出したので、村長のところがこの退職届をめぐる大紛争が起きたのです。ではどんな紛争となったか、当時の議事録を記述して見ましょう。

明治二十五年十二月七日 出席議員 出席議員 藤井松次郎殿 三浦治郎吉殿 高森 為市殿 甲斐 義平殿 田中半次郎殿 那須 長作殿 新名 虎吉殿 河野今朝市殿 寺原十三郎殿 山口 倉吉殿 寺原治郎吉殿 寺原 亀吉殿 池田 角治殿 吉田茂太郎殿 川越 利吉殿 欠席議員 小野熊四郎殿 那須 金平殿 議長(助役) 松崎千三郎村長甲斐定一郎退職届ヲ提出シテ議會ノ認定ニ付ス

教育モニター募集

文部省では、政府の文教施策について、広く一般国民から意見、要望等聞き、文教行政の参考とするため次のおり教育モニターを募集しています。一、募集人員、五百人

- 一、応募資格 年齢二十歳以上の日本国民(次の方は応募できません) ⑦国会議員及び地方公共団体の会議議員 ⑧常勤の国家公務員及び地方公務員(ただし校長及び教員は応募できません) 二、依頼期間 二年

- ⑨行政相談員法による行政相談員 ⑩かつて文部省教育モニターであった者 ⑪申込及び問い合わせ ⑫八八〇 宮崎市橋通東一丁目九番十号 教育庁総務課 ⑬〇九八五(二四)一一一一 ⑭申込み締切日 二月二十三日

昭和59年度共同募金地域別一覧表

Table with 4 columns: 地区, 募金額, 目標額, 達成率. Rows include 寺迫, 福瀬, 小野田, 鶴野内, 迫野内, 八重原, 田野, 羽坂, 仲深, 坪谷, 越表, 下渡川, 街頭及域, 計.

目標額を達成

「やさしさを隣人に」のスローガンのもと、昨年十月一日から十二月末日まで全国一斉に展開されました「赤い羽根共同募金運動」は、町民のみならず方々のあたたかいご協力により目標額を上回る実績を修めることができたに有難うございました。また十二月一日から展開された「歳末たすけあい」、「海外たすけあい」運動におきましても老若男女の協力を募金にたいしては、次のとおりの実績でありましたので結果を報告し、その配分につきまして次表のとおり慰問品なり金品

赤い羽根共同募金配分内訳

A配分(目標額の24%) 二四二、〇〇〇円 用途……県共同募金会が県内福祉施設に B配分(目標額の76%と実績の上積額) 九九八、五三七円 用途……町共同募金会が町内の社会福祉事業費に

配分明細 (表2)

ふるさと愛の募金 70,000円 海外助け合い 138,000円 歳末助け合い 106,283円 ①この歳末助け合い募金については町内から県下福祉施設に入所されている方々に金2,000円宛宛見舞金として配分しました。

歳末たすけ合い 募金一覧表

Table with 2 columns: 区分, 募金額. Rows include 老人クラブ, 街頭募金, 民生委員会, 計.

▽赤い羽根共同募金の実績 目標額一、〇九、〇〇〇円 募金額一、二四〇、五三七円 達成率 一一二・パーセント 地域別表(表一) 歳末助け合い、海外助け合い募金実績(表二)

駐在所たより

Table with 4 columns: 発生(件), 死者(人), 傷者(人), 管内. Rows include 県内, 日向管内, 東郷町内.

一、昨年の交通事故 現在「シートベルト着用日本一」の県民運動(S・59・4・1・S・60・3・31)が進められている中、東郷町内においてもその着用率は向上しつつあります。昨年一年間の交通事故数を示しますと

牧水と坪谷 (34)

お前をこちらに呼ぶのも、心からの私の希望ではない。いろいろその間にも心苦しいことがある。けれども他と比べて、それがよりよき処置である。しかたのないことであると信ずるが故である。私の心をも酌んでくれ。平静な心と、滞りなき健康とを祈って筆をおく。 「こちらにいる期間は、母を見送る迄か、母の心をやわらげておいて、おとなしく許しを得て出て行くまでか、の二つだ。」 牧水は郷里に留まることを決心して、一度は妻を呼び寄せる手紙まで書きましたが、しかし少し落ちついてみると、郷土に留まるということにも、大きな問題があり、いかにすべきかと毎日苦悶と懊悩を送り迎えました。こうして生活の中に詠んだ歌に破調の歌が多くみられます。 納戸の隅に折から一挺の大鎌あり汝が意志をまぐるなといふが如くに 新たにまた生るべしわれとわが身に斯く言ふときに涙ながれき 焚火焚火焚火に限るようにな

塩月儀市

十二月十四日、牧水は美々津に出かけて数日滞在して十七日に帰宅しました。その際の作歌 ・老人よ楽しからずや海は青しやよ老人よ海は青し青し 岩のあひだを這いて歩くはだして笑ひて浪とわれと ・水平線が鋸の刃のごとく見ゆ太陽の真下の浪のいたまじさよ 牧水は焦燥、憂鬱、懊悩のうち故郷の家で大正二年の新年を迎えました。 二日の午後突然大牟田から歌会の招待が来ました。牧水は母の許を得てその日の夕方坪谷を出発し、大牟田に二十日ばかり滞在し、福岡、島原、鹿児島に友を訪ねて二月二日に帰宅しました。(つづく)

★おわび★

町報新年号の新入学予定児童の中で、美々津小学校田の原分校の入学予定児童がもれていました。おわびして紹介いたします。地区 就学予定者 保護者 続柄 長崎 安藤 孝 生 長男



行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄・電々公社などの仕事、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅でも受付けています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。

なお、当日は宮崎行政監察事務所より担当係官が来町し相談に応じます。

▽日時 2月19日 9時～15時
▽場所 老人福祉館

東郷町仲深
行政相談委員 山口俊一

心配ごと相談

次のとおり心配ごと相談が実施されます。心配ごと・悩みごとなどどんなことでも遠慮なくご相談ください。

なお、各地区の相談員(民生委員)による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

▽日時 2月19日 9時～15時
▽場所 老人福祉館

一般健康相談

▽期日 2月16日
▽場所 老人福祉館
▽受付 9時30分～10時30分
▽対象 40歳以上の成人男女(町内全域)
▽内容 検尿・血圧測定・保健指導など

母子健康相談

▽期日 2月19日
▽場所 老人福祉館
▽受付 9時30分～10時30分
▽対象 3・6・12ヶ月児及び妊産婦
▽内容 検尿、身体・血圧測定、保健指導など

三種混合及び二種混合ワクチン接種

三種及び二種混合ワクチンの予防接種が次のとおり実施されます。一、三種混合(百日咳、ジフテリア、破傷風)
二、二種混合(ジフテリア、破傷風)
満二歳以上四歳未満児の未接種者、もしくは未完了者。
満二歳以上で既に百日咳にかかった者。

満四歳以上六歳未満児の三種二種混合の未接種者、もしくは未完了者。
三、注意事項
二種、三種混合ワクチンとも第一期は三～八週間隔で三回受ける。第二期は、第一期完了後十二～十八ヶ月の間に一回追加します。
三種混合完了者は二種混合接種の必要はありません。

期日	時間	場所
2月20日	14時～14時30分	寺迫公民館
2月21日	13時～14時40分	坪谷保育所
2月22日	14時～15時	中央公民館

農業委員会
選挙人名簿の縦覧

農業委員会委員選挙人名簿は、毎年一月一日現在で調整されることになっています。

町選挙管理委員会では、次の日程で縦覧に供することになっています。縦覧期間中に異議申立がなかった場合は、三月三十一日に確定されます。
▽縦覧期間 二月二十三日～三月九日
▽縦覧場所 町選挙管理委員会事務局 (役場総務課内)

今月の納税等
固定資産税四期

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。
◎鶴野内の池内繁雄さんから(貞野さん・95歳ご死去)
◎越表の山元文明さんから(良雄さん・26歳ご死去)
◎広瀬の平瀬昇さんから(春治さん・90歳ご死去)
◎南郷村の甲斐久太郎さんから(覚治さん・87歳ご死去)
◎福瀬の関野アイ子さんから(勇さん・54歳ご死去)

まちのうごき

人口	6,400人(+9)
男	3,083人(+10)
女	3,317人(-1)
世帯	1,773戸(+5)

60年1月1日現在
()は対前月比

戸籍だより
十二月届出分

出生おめでとう
赤ちゃんの名

氏名	父の名	住所
金丸 祐幸	月美	福瀬
黒田 成美	敏彦	仲深
山田 昌賢	重男	追野
松原 優子	美生	羽坂
黒木 優香	福三	福瀬
水野 美香	夫美	仲深
矢野 智秋	信平	小野
谷口 裕弦	晴夫	小野
渡邊 裕子	甚市	寺迫

結婚おめでとう

氏名	住所
稲田 富男	坪塚
甲斐 靖一郎	諸谷
濱井 洋子	坪谷
酒井 孝司	坪谷
中武 やつ子	南郷
草留 幸典	宮崎
矢野 佐代子	田野
福野 千枝美	愛知
直野 千枝美	福瀬

ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
池内 貞野	95	鶴野
海野 サカエ	60	福瀬
山元 良雄	26	越表
平瀬 春治	90	福瀬
永岡 龜吾	85	小野
中野 稔	65	小野